

第2章

子どもと子育て家庭を 取り巻く現状

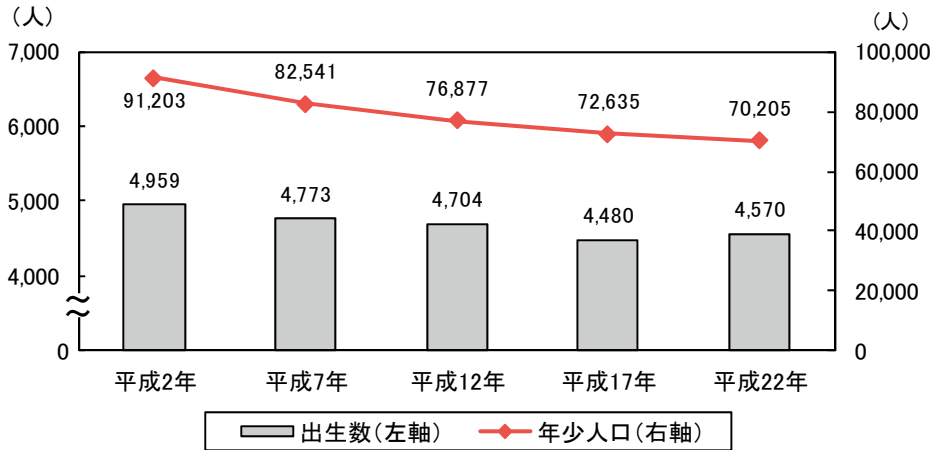
第2章 子どもと子育て家庭を取り巻く現状

1 子どもをめぐる状況

(1) 出生数

松山市の出生数は平成2年には4,959人と5千人近くいましたが、平成22年には4,570人と徐々に減少し、平成24年には4,524人となっています。また、14歳以下の年少人口は平成2年には91,203人と9万人を超えていましたが、平成22年には70,205人、平成25年には、69,620人と7万人を割り込むまで減少しています。

出生数と年少人口の推移

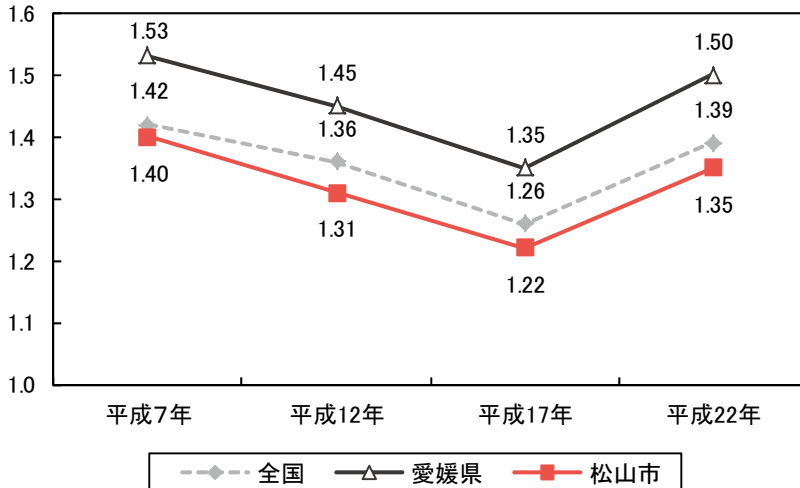


資料:国勢調査

(2) 合計特殊出生率

松山市の合計特殊出生率は全国及び愛媛県の平均よりも低く、平成17年に1.22と最低を記録しましたが、その後は上昇し、平成22年には1.35、平成25年には1.36となっています。

合計特殊出生率の推移



※合計特殊出生率

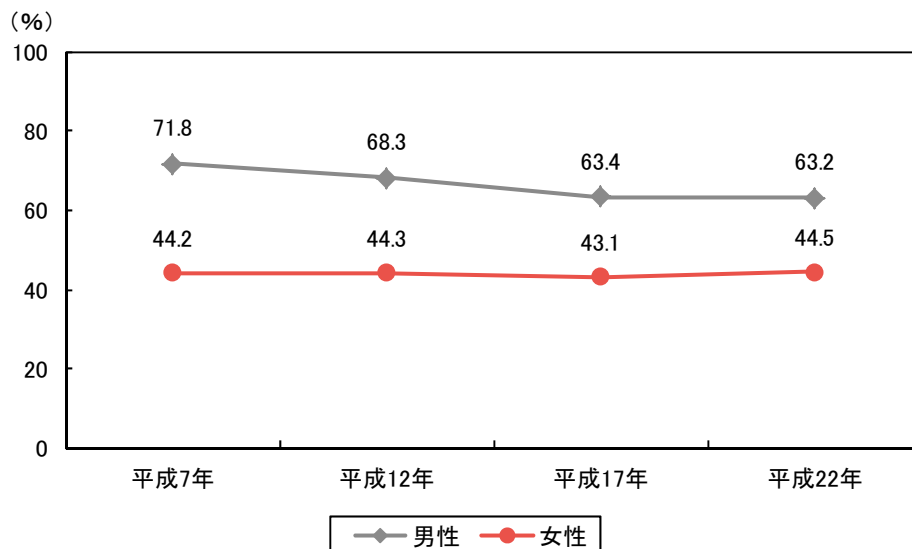
「15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が平均して一生の間に生む子どもの数に相当。

資料:全国及び愛媛県、厚生労働省人口動態統計 松山市、松山市保健所人口動態統計
※平成12年以前は、旧北条市、旧中島町の出生率を含まない

(3) 就業率

就業率は、男性の就業率が平成7年から平成22年にかけて緩やかに下降しているのに対して、女性の就業率は、ほぼ横ばいか微騰で推移しています。

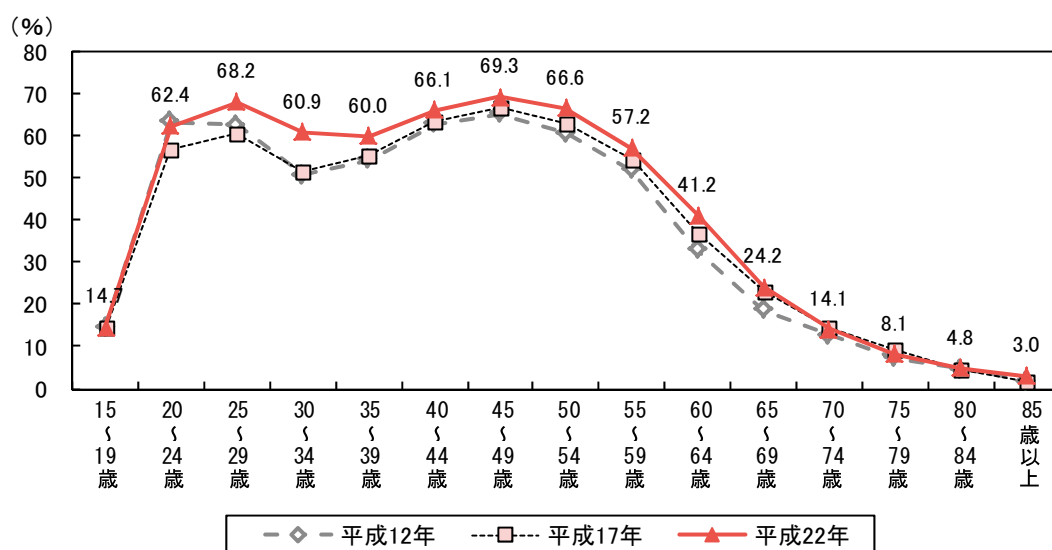
男女別の就業率の推移



資料: 国勢調査

また、女性の年齢別就労割合は、25～29歳にピークを迎え、その後結婚や出産、子育てに就業率は減少し、その後、子育てが落ち着く45～49歳にかけて、再び増加するいわゆるM字型曲線を示しています。最も底となる30～34歳をみると、平成12年は50.8%でしたが、平成22年には60.9%と上昇し、M字型の曲線もなだらかになり、子育て世代の女性の就業率が、上昇していると言えそうです。

女性の年齢別就業割合の推移



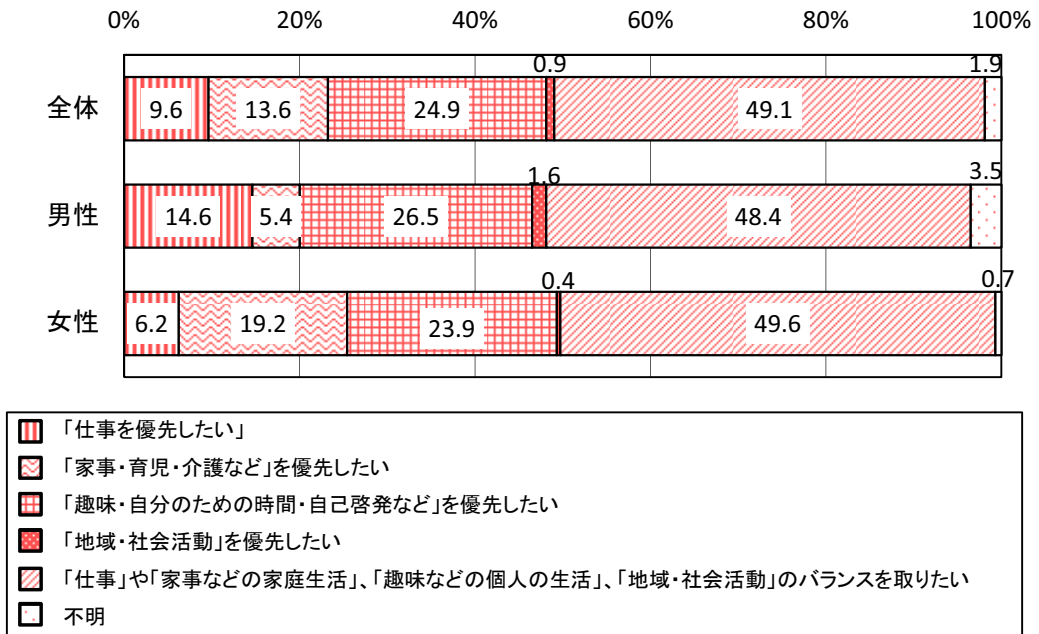
資料: 国勢調査

(4) 仕事と日常生活のバランス

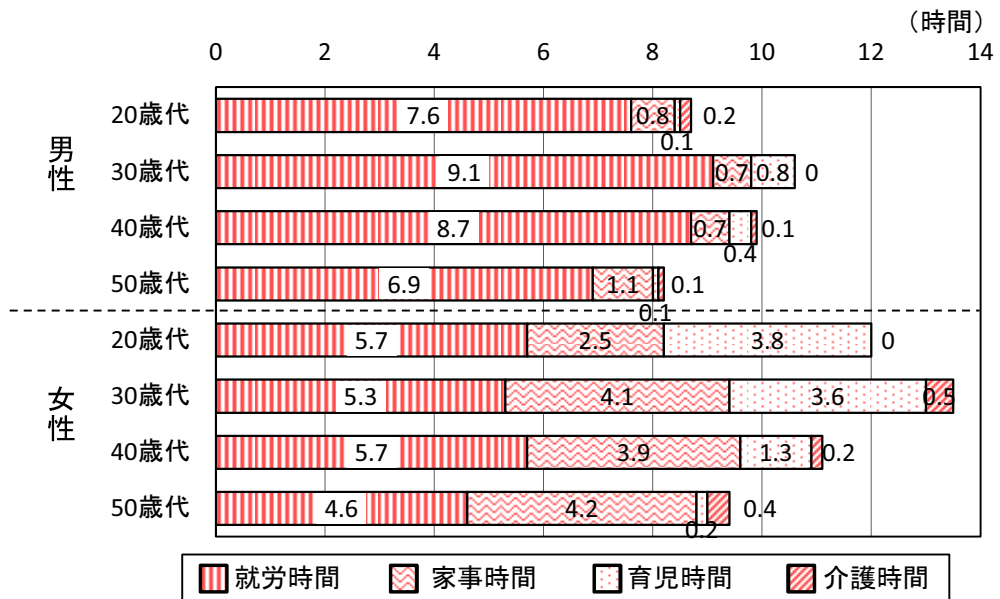
松山市民の意識は、仕事と家庭生活・個人生活・社会活動のバランスを取りたいとの意見が約半数を占めています。

しかしながら、実際の生活時間は、男性は仕事中心で、家事・育児に関する時間が、わずかとなっているのに対し、女性は、仕事のほか、家事・育児にも時間を費やしている状態です。特に、子育て期の20歳代及び30歳代の女性については、1日24時間のうち半分以上を占めています。

日常生活で優先したいと希望する活動



1日あたりの時間の使い方



資料：(財)松山市男女共同参画推進財団 平成23年3月
「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する市民及び事業所意識調査報告書」

(5) 就学前児童の状況

松山市の平成26年度小学校就学前児童数は、26,837人です。年齢別に認定こども園や幼稚園及び保育所などの利用状況をみると、0歳では1割、1歳から2歳では、3割程度の子どもが保育所や認可外保育施設を利用しています。3歳から5歳では、幼稚園の利用が多くなっています。

■平成26年度小学校就学前児童の状況

(単位：人)

年齢	児童数	認定こども園	構成比	幼稚園	構成比	保育所	構成比	認可外保育施設	構成比	その他	構成比
0歳	4,270	43	1.0%		0.0%	207	4.8%	75	1.8%	3,945	92.4%
1歳	4,474	167	3.7%		0.0%	919	20.5%	264	5.9%	3,124	69.8%
2歳	4,530	161	3.6%		0.0%	1,105	24.4%	241	5.3%	3,023	66.7%
3歳	4,501	714	15.9%	2,382	52.9%	1,089	24.2%	131	2.9%	185	4.1%
4歳	4,557	677	14.9%	2,564	56.3%	1,129	24.8%	149	1.6%	204	2.3%
5歳	4,505	680	15.1%	2,521	56.0%	1,138	25.3%				
合計	26,837	2,442	9.1%	7,467	27.8%	5,587	20.8%	860	3.2%	10,481	39.1%

(資料)・幼稚園は、学校基本調査及び学校実態調査(※市外児童含む)

・保育所は、保育・幼稚園課4月1日入所児童数調べ(※市外児童含む)

・認可外保育施設は、地域保育所状況調べ(※市外児童含む)

・認定こども園は、幼稚園機能部分は学校実態調査(幼保連携型・幼稚園型)、保育所機能部分は保育・幼稚園課4月1日入所児童数調べ(幼保連携型・保育所型)、地域保育所状況調べ(地方裁量型)(※市外児童含む)

注) 認定こども園の保育所機能部分、保育所及び認可外保育施設は4月1日現在
認定こども園の幼稚園機能部分及び幼稚園は5月1日現在

(6) 待機児童の状況

厚生労働省が定義する保育所の待機児童数について、平成21年から平成25年にかけて、ほぼ横ばいでしたが、平成26年には、0人になりました。

■待機児童数の推移

(単位：人)

	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
待機児童数	45	37	39	25	40	0

注) 各年4月1日現在

2 これまでの子ども・子育て支援の取り組み

(1) 『後期まつやま子育てゆめプラン』を振り返って

■後期まつやま子育てゆめプラン 平成25年度評価結果

松山市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会

評価基準

- 5 計画に比して特に成果の顕著な事業
- 4 計画を上回る成果の認められる事業
- 3 計画どおりの成果が得られた事業（定型的な事業が執行された場合を含む）
- 2 計画を下回る成果しか認められない事業
- 1 計画に比して特に成果の得られなかった事業
- 0 計画されていたにもかかわらず、事業自体が未実施
- もともと事業の実施が計画されていなかったため、評価不能

No.	事業名	担当課	H25 目標	H25 実績	評価 点数
1	通常保育事業（施設整備）	保育課	67 箇所 6,115 人	66 箇所 6,185 人	4
2	延長保育事業	保育課	61 箇所 1,085 人	61 箇所 1300 人	4
3	休日保育事業	保育課	12 箇所 125 人	14 箇所 145 人	3
4	夜間保育事業	保育課	2 箇所 40 人	1 箇所 20 人	2
5	一時預かり事業	保育課	36 箇所 360 人	35 箇所 350 人	2
6	特定保育事業	保育課	34 箇所 170 人	32 箇所 160 人	2
7	病児・病後児保育事業	保育課	3 箇所 12 人	4 箇所 16 人	4
8	地域子育て支援拠点事業（センター型）	保育課	15 箇所	15 箇所	3
9	市立保育所の民間委託	保育課	14 園	10 園	2
10	乳児保育事業	保育課	47 箇所	45 箇所	2
11	ショートステイ事業	子育て支援課	240 日	452 日	4
12	地域子育て支援拠点事業（ひろば型）	子育て支援課	6 箇所	5 箇所	3
13	放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）	子育て支援課	70 箇所	64 箇所	3
14	養育支援訪問事業	子育て支援課	要支援児童等 に対する適切な対応	733 件 (延3710件)	3
15	児童館等管理運営（整備）事業	子育て支援課	8 箇所	7 箇所	3
16	ファミリー・サポート・センター事業	市民参画 まちづくり課	2,300 人	2,205 人	3

※担当課は当時の課名

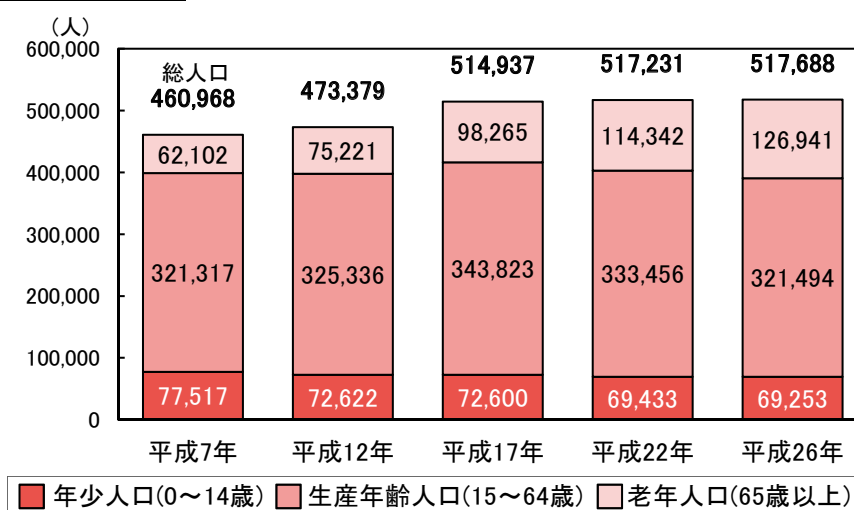
3 人口等の見通し

(1) 人口の推移

松山市の人口は、平成 26 年 10 月 1 日現在、517,688 人と、平成 7 年以降増加傾向が続いていましたが、増加の割合は緩やかになっています。

また、年齢 3 区分人口の推移をみると、年少人口は平成 7 年から現在まで減少が続いていて、生産年齢人口も平成 12 年以降減少が続いています。一方で老年人口は平成 7 年以降一貫して増加しており、平成 26 年の総人口に占める割合は 24.5%となっています。

年齢 3 区分人口の推移



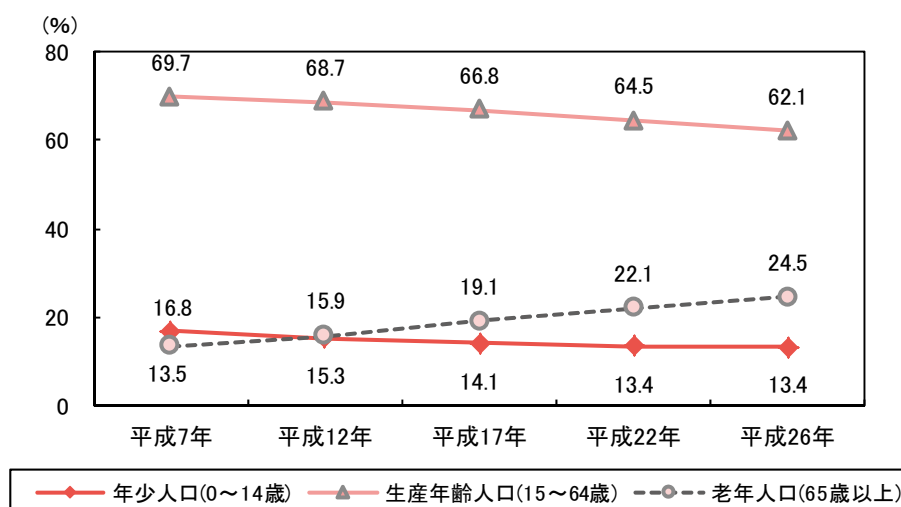
資料：平成 7 年～平成 22 年 国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

平成 26 年 住民基本台帳人口（10 月 1 日現在）

※平成 7 年～平成 17 年総人口は区分不明人口を含む（平成 7 年 32 人、平成 12 年 200 人、平成 17 年 249 人）

※平成 7 年、12 年は北条市、中島町を含む

年齢 3 区分人口割合の推移



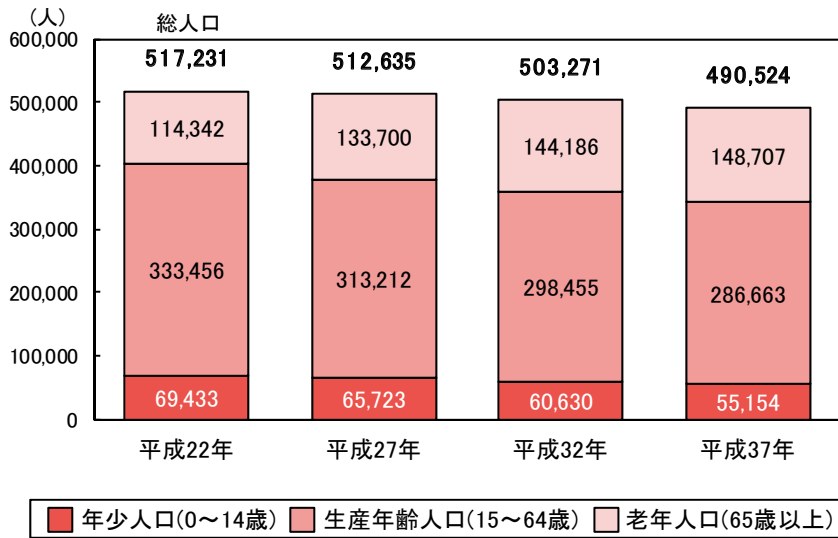
資料：同上

※平成 7 年、12 年は北条市、中島町を含む

(2) 将来推計人口

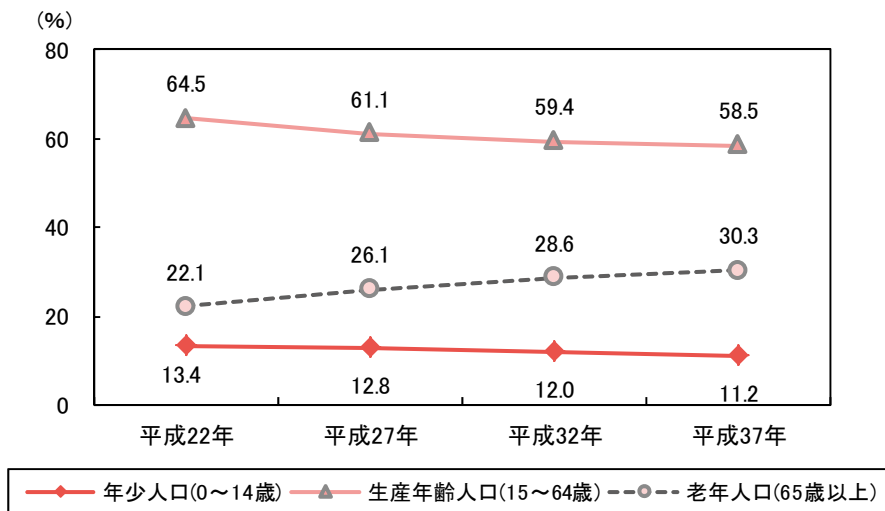
国立社会保障・人口問題研究所が公表した将来推計人口をみると、松山市の総人口は今後減少が続き、平成32年には503,271人になると推計されています。また、年齢3区分別にみると、年少人口及び生産年齢人口は引き続き減少が続きますが、老年人口は増加が続くと見られ、さらなる少子高齢化の進行が予測されます。

推計人口と年齢3区分人口（比率）の推移



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（2013年3月推計）」

年齢3区分推計人口割合の推移



資料：同上

(3) 推計児童人口

松山市の11歳以下の人口は今後も減少傾向が続き、平成31年には53,160人になると推計されます。なお、11歳以下の人口が減少しますが、総人口の減少も予想されるため、当面、総人口に対する割合は10.6%程度で推移するものとみられます。

■推計児童人口（比率）の推移

(単位：人)

区 分	現 状	推 計				
	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
児童人口(0~11歳)	54,530	54,241	53,788	53,546	53,505	53,160
(総人口比)	10.6%	10.6%	10.5%	10.5%	10.6%	10.5%
0歳	4,270	4,251	4,231	4,212	4,193	4,174
1歳	4,474	4,353	4,333	4,313	4,294	4,274
2歳	4,530	4,471	4,350	4,330	4,310	4,291
3歳	4,501	4,520	4,461	4,340	4,320	4,301
4歳	4,557	4,509	4,528	4,469	4,348	4,328
5歳	4,505	4,566	4,518	4,537	4,478	4,357
0~5歳	26,837	26,670	26,421	26,202	25,943	25,724
6歳	4,602	4,510	4,572	4,524	4,543	4,483
7歳	4,613	4,607	4,515	4,576	4,528	4,547
8歳	4,352	4,633	4,626	4,534	4,596	4,548
9歳	4,585	4,367	4,649	4,642	4,550	4,612
10歳	4,835	4,605	4,386	4,669	4,662	4,569
11歳	4,706	4,851	4,619	4,400	4,684	4,677
6~11歳	27,693	27,572	27,367	27,345	27,562	27,436

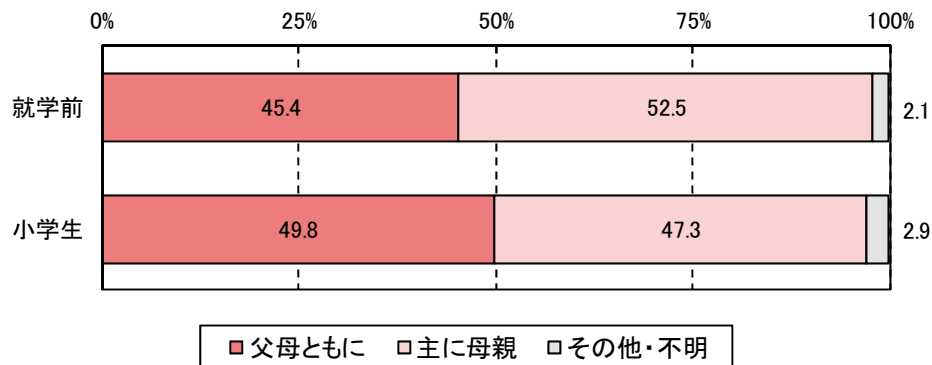
平成17年～平成26年までの住民基本台帳人口(各年4月時点)を基にしてコーホート法で推計

4 子育てに関する意識の現状

(1) 子育てに関する意識

「子育てを主に行っている」という意識については、就学前児童、小学生ともに「父母ともに」と「主に母親」が、ほぼ同程度となっています。母親の割合が高く、子育てを母親が担っている様子が伺えます。

子育ての主な担い手



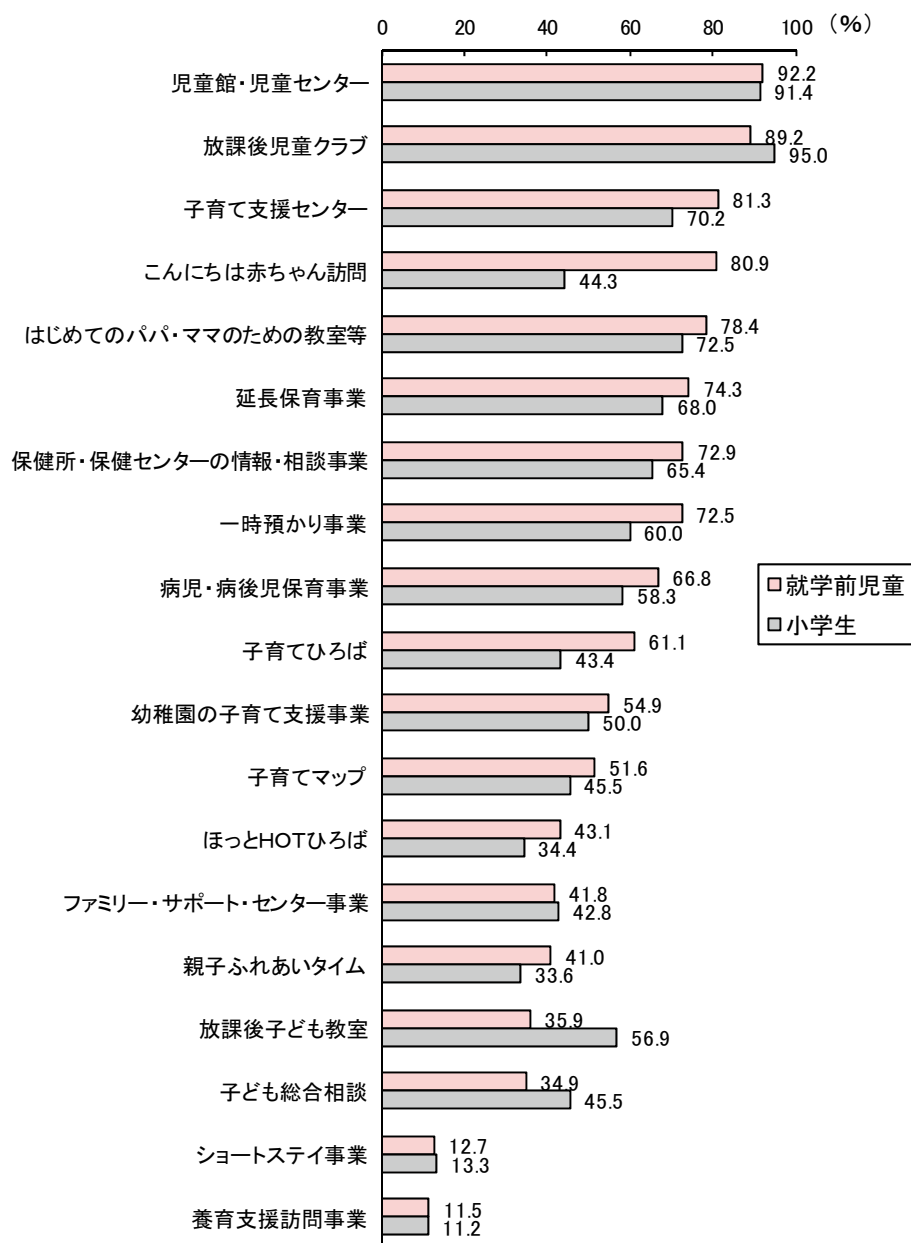
資料: 松山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査



(2) 子育て環境の総合評価

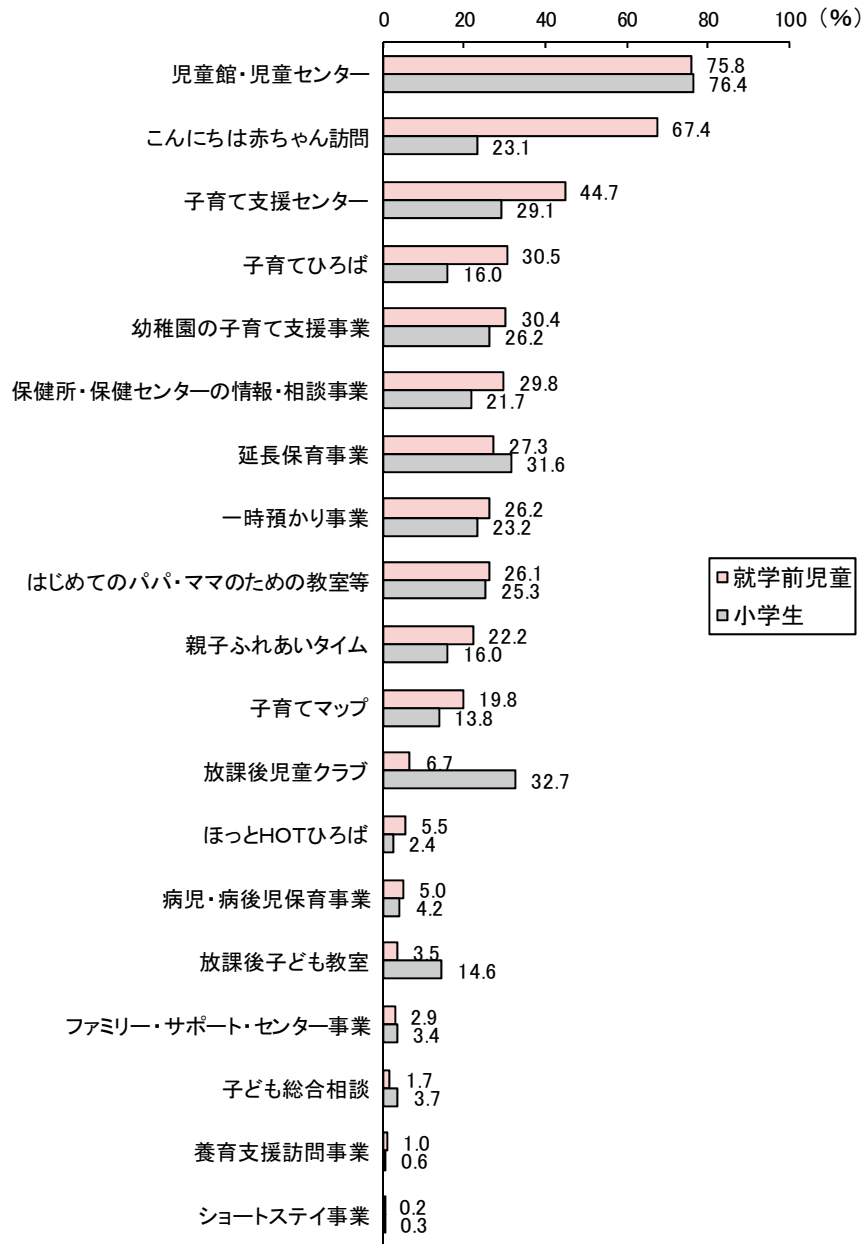
①各種子育てサービスの認知度・利用経験・今後の利用希望

各種子育てサービスの認知度



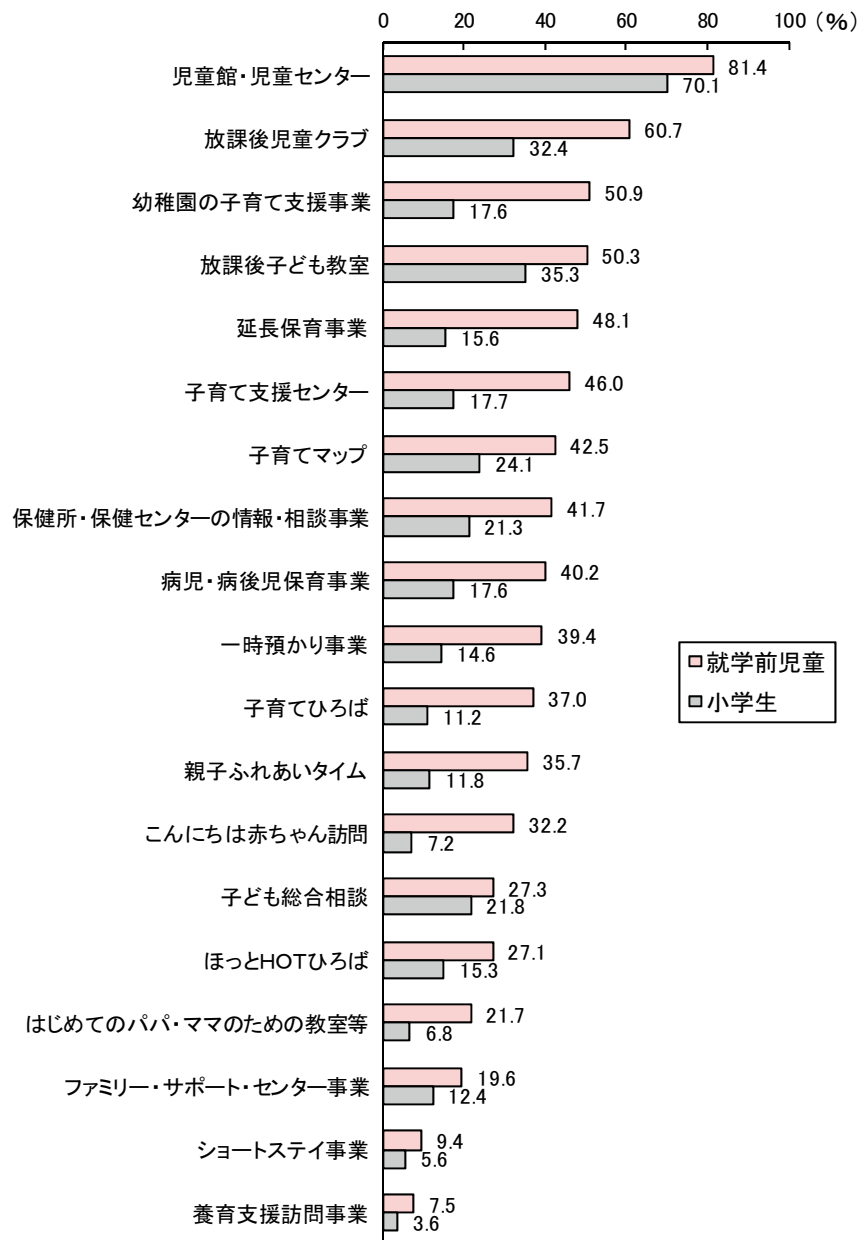
資料:松山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

各種子育てサービスの利用実績



資料：松山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

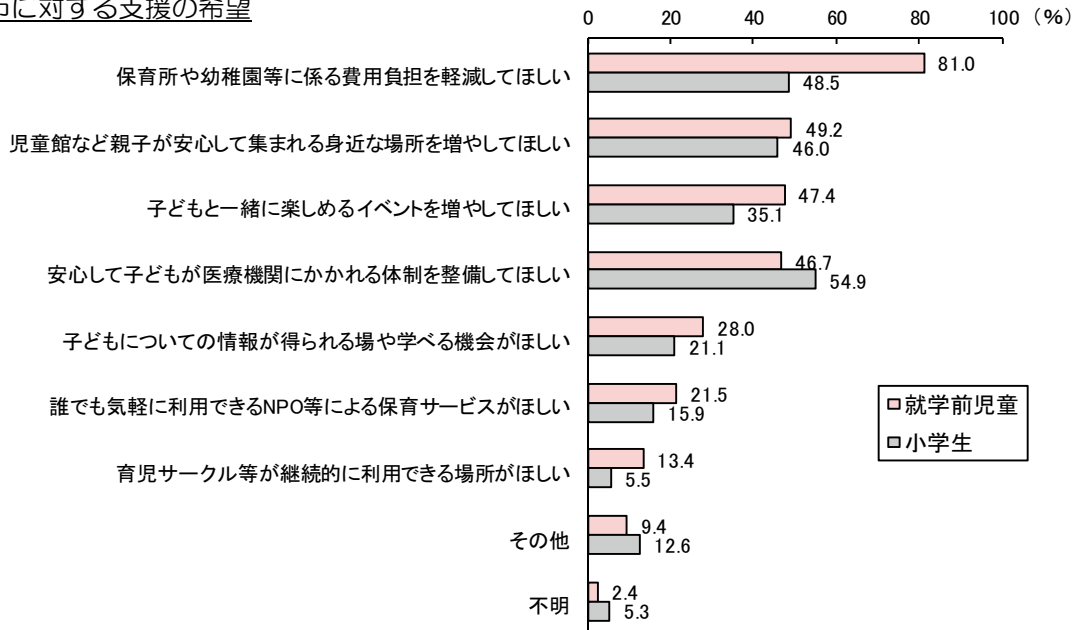
各種子育てサービスの利用希望



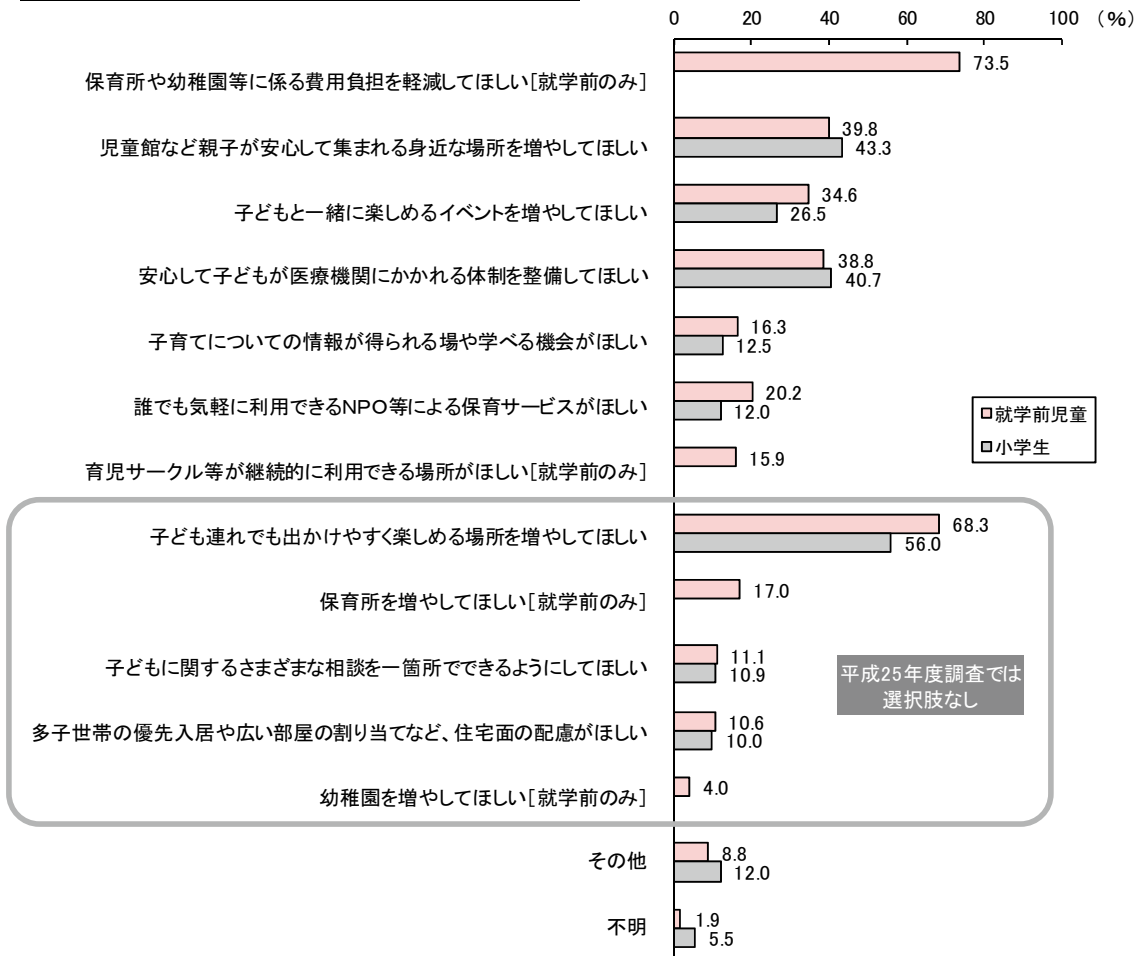
資料：松山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査

(3) 松山市に対する支援の希望

松山市に対する支援の希望



松山市に対する支援の希望（平成20年調査）



資料：松山市子ども・子育て支援に関するニーズ調査及び後期まつやま子育てゆめプラン策定時アンケート調査